

次号予告

2015年10月号

特集

「老衰」で家で最期まで 高齢終末期を支えるために必要な 医療・地域・倫理を考える

高齢多死社会のなかで、地域医療に「看取る力」が期待されています。がんなど急激な経過をたどる終末期もありますが、慢性疾患を複数抱え、ときに増悪と回復を繰り返しながら、ゆっくりと下り坂を下るように、いわゆる「老衰」のような状態になって、いつのまにか終末期に入る……という高齢者の方も多くいます。

そのような高齢終末期において、本人にも、家族にも、周囲の人にとっても、「いい看取り」とはどんなものなのでしょう。か。「その人らしい最期」を支えるためには、何が必要なのでしょう。

地域・医療・家族・倫理など、いろいろな方向から答えを探る特集です。

【対談】ともに老い、看取る地域のつくりかた

「老衰で家で最期まで」を叶える医療の立ち位置とは？

●秋山弘子・花戸貴司

【「老衰」終末期のケアに必要なこと】

「老衰」終末期の捉え方と医療ケア

●大蔵暢

本人・家族と医療者の「覚悟」

●上田聡

医療倫理的視点とアドバンス・ケアプランニング

●会田薫子

「老衰」看取り実践報告

●小笠原望

【コラム】家庭医が支える英国の「老衰」終末期

●澤憲明

特別記事

〈お迎え〉体験にみる日本人の死生観●河原正典

編集後記

これまで身内を自宅で看取った経験がなく、「家で看取る」ということの意味を肌で感じたことがありません。ただ、今号の特集でさまざまな看取りのエピソードを拝読し、「その人らしく生きた」ことが、よい看取りに共通することであり、多くの人にとって「その人らしさ」を発揮できる最良の場が「家」なのだと思います。視点を変えれば「家」は、「その人らしさ」が表わされた場であるということ。緑の多い広々とした場所に住みたいと思った結果、都内の職場から2時間近くかかる場所に自宅がありますが、今の場所に移った際、「最期は家で……」という思いを実感しました。…小林

家族や友人・知人と故人の思い出を話し合うときほど、亡くなった人を近く感じることはないかもしれません。グリーフケアという医療の枠組みに入りますが、口にして、文字にして語ることには、そこに留まらない大きな力があるような気がします。

懸賞論文に応募いただいた100篇近くの作品を読むことは、亡くなった方、書いた方、それぞれにお会いするような体験でした。自分がその人の死について語りたくなるような人がいて、自分が死んだら語ってくれる人がいるという人生は、「孤独」とはほど遠いものでしょう。そんな語りの背景には、殺風景な白ではなく、やはり「家」がいちばん似合うのかもしれない。…栗原

訪問看護と介護 第20巻 第9号（通巻231号） 2015年9月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2015, Printed in Japan

1部定価：本体1,300円＋税 年間購読料（税抜、送料弊社負担、年間12冊）：12,600円（冊子版）／

15,600円（冊子＋電子版／個人）／17,520円（冊子＋電子版／共有）／12,600円（電子版／個人）／14,520円（電子版／共有）

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小林・栗原・早田

✉ houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構

（☎03-3513-6969, FAX03-3513-6979, ✉ info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

※「訪問看護と介護」は、株式会社医学書院の登録商標です。